

新潟県納税貯蓄組合総連合会長賞 優秀

税から学んだこと

長岡市立東北中学校

三年 高橋 京輔

私は、税というものはどのようなところでどのように使われているのかなど税のことについて知っていることはあまりありませんでした。学校で、租税教室が開かれたときに初めて知ったことが三つありました。

一つ目は、教育についてです。私たち中学生の一人あたりの年間教育費が、百万円以上かかっていることにびっくりしました。私は学校に行って勉強することがあたりまえだと思っていました。予想以上にお金がかかっていることに気づき、そのような考えは間違っていると感じました。また、学校へ行くと必ず教科書をもらいますが全て無償で配られていることにも驚きました。教科書は、税金によって支給されているのでこれからは今以上に大切に使用したいと思います。

二つ目は、税の使いみちについてです。税は、新エネルギー対策や災害からの復興、ごみの処理、地域医療の充実などに使われています。特に私が印象に残ったのは、災害時の税の使いみちです。平成十六年十月二十三日に起きた新潟県中越地震や、約三年後に起こった新潟県中越沖地震では、水道・電気・ガスなどのライフラインが使えなくなっていました。

た。そんな時、もっとも役に立ったのが税金でした。避難した人々に食料や水を支給したり、家を失った人々のために仮設住宅が建設されたり、災害により被害を受けた施設や道路、人々に対して多くの税金が使われました。万が一のことが起こってしまった時に、役立つのは税金だということがわかりました。

三つ目は、消費税についてです。平成二十六年四月から八パーセントになりました。消費税率の引き上げによる増処分は、すべて社会保障の財源とされ、社会保障制度を安定させ、さらに充実するために使用されているようです。また、消費税率の引き上げが実施された理由として、少子高齢化が進んでも世代を問わず一人ひとりが安心して暮らせる社会を実現するためだったそうです。私は、今まで消費税を悪いものとしての認識がありました。それは、商品の値段が高くなってしまおうと思ったからです。定価の値段に、消費税をたす意味はあるのかと私は考えたことがありました。でも、消費税によって一人ひとりが安心して暮らせる社会を実現できるということを知ってとても驚きました。このようなメリットな部分をもっとのばして私たちの税が有効に使われてほしいと思います。

私が税について学んだことは、この他以外にもたくさんあります。世の中には、税金の力を借りて生活を送っている人もいるので、すべての人が安心して気持ちよく生活ができる社会であればよいと思います。これからは税に関するニュースや新聞記事などに興味をもっていききたいです。